

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所 石城郡平町紺屋町十四
電話 八四八
印刷 福島縣石城郡平町紺屋町十四
電話 八四八
發行 石城時報社
電話 八四八
廣告料 一行十四字 金五拾錢
印刷 一行十四字 金五拾錢
電話 八四八
電話 八四八

常磐炭礦代表者 東京に兩局長を訪ふ 運賃値下げの運動

常磐地方大炭礦代表者は鐵道納名濱に繋留されて何の役にもた
炭洩其他の經營難局の打開のため、僅かに目下銑子沖合
め此程運上して東京丸の内に出漁中の江名濱吉田厚氏所有
中央亭に折柄全國鐵道監督局長の盛厚丸より發せらるゝ無電を
會議に出席のため在京中の北山唯一の頼りとして出漁を急いで
東京、土岐仙臺兩監督局長と會する位に至つて振はず、ために
見炭礦經營今後の援助善處方に
就いて懇談を交したるが
更に打開の一方策として鐵道
運賃値下げ問題の實現を期し
是に依る販路擴張に依つて窮
地打開の一助とすべく鐵道當
局其他關係監督官廳に折衝す
る事となつた、尙右石炭運賃
の引下げは噸當り五十錢を減
額すれば信州方面に於て現在
の出炭量の四分の一の販賣
能力が高められ増送により鐵
道收入には何等變化はない筈
だが實現は九州炭礦界との均
衡上相當曲折を免れない、然
し成否は兎も角として前記炭
礦の積極的進出は時節柄相當
興味を持たれてゐる。

磐城丸修理

十日には終らう
經群が銑子沖合二百里附近まで
游泳して來たと言ふので近縣各
濱では何れも試験場を先頭と
して早くも目醒ましい大活躍を
初めたが本縣各濱では肝心の試
験船磐城丸が修理未だならず小

十二圓第一回の拂込みをなした
が、この不況にも拘らず異様の
好成绩で第二回の二十五日限り
の金一萬一千九十七圓の拂込み
も何等異状なしと平稅務署は觀
測してゐる、尙第三回金一萬一
千一圓は來る六月二十五日限り
である。

磐城水産工業で 技師を派遣

小名濱町磐城水産工業會社は冷
凍裝置の完備と同時に石城各濱
の中心會社として重要がられて
ゐると共にその販路を擴張し大
阪方面に聲價を高めてゐるが、
阪方面に聲價を高めてゐるが、
阪方面に聲價を高めてゐるが、

石城の酒造稅

石城
今回の酒造稅は既報の如
究のため約一ヶ年の豫定でサン
フランシスコ國際水産會社ロス
百九十圓を同酒造組合が借受け
アンゼルス出張所に派遣する事
全員完納を果し三十日一萬九
となり十五日頃出發の等である

石城郡の所得稅

前年の二割減 最高は六萬圓位か

石城郡所得稅調査委員會は日下
平稅務署樓上に開會中であるが
同署管内の本年度第三所得稅(が
あつたものが三十名も、一千
個人)人員は一千二百名で昨年
の一千二百三十七名所得限度一
千二百圓、最高七萬三千圓に比
すれば人員において三十七名を
減じ最高所得の如きも六萬五
千圓に減する見込み、總額にし
達してゐる。

本年の春蠶況 桑不足を來さん

掃立は一割五分減 石城養蠶同業の觀測

石城地方の春蠶は目下催青中で
掃立は平寢、小川村方面の早場
で七八日大並十二、三日頃で大
郡上遠野村街道を疾走中前方の
體十五、六日に終る模様である
が今年以降雪の多かつた關係か
ら桑の成長が幾分遅れてをり加
ふるに爾後安から掃立の決定に
迷つてゐる等から例年より遅れ
てゐる、桑芽の具合は昨今急遽
に伸びてゐるが一般に施肥を手
控へてゐるので一割五分程度の
掃立減ではあるが余す様な事な
く却て終り頃に桑不足を來す様
な皮肉な現象を生むではないか
と養蠶業組合では觀測してゐる

勿來町と大日本炭礦に 礦毒問題起る

炭礦側に正式交渉

勿來町では大日本炭礦勿來坑よ
りの排水のため石城郡錦村中田
に至る蛭田川沿岸二百町歩の水
田が年々著しく減收を來してゐ
る上に塩分その他所謂礦毒のお
肝要の苗代期に雨水が流れ込む
結果芽が腐敗し相等の被害を受
けてゐるので再三排水路の改
修方を交渉中であつたが未だに
放任されてゐるため苗代期を早
前に控へて同町農會では窪田農
事實行組合の懇望により昨日
同坑に對し排水路を迂回せしむ
るか若しくは上流に爐過池を設
けるかその一を優先正式に交
渉するところであつた、炭界不振
の折柄會社側では即答を避け考
慮する事となつたが若し應せぬ
ば斷然たる措置に出べく町と
の關係が複雑してゐるだけ成行
を注視されてゐる。

電柱倒れ 工夫負傷

石城郡小名濱町明神下二本松電
氣工場酒井喜一(四三)は一日正
午頃江名町字上神白地内で電柱
の腐蝕箇所を修繕中突如電柱が
倒れその下敷となつて全治三ヶ
月の打撲傷を負つた。

川中へ轉落

石城郡植田町字金畑貨物自動車
營業佐藤久四郎方運轉手伊藤福

平町小賣物價

平町
に於ける日用品の小賣相場は調
査目六十二種中先月に比し騰
貴せるもの五種、下落せるもの
十二種、その他は保合にして總
體に於いて大體保合を示めて
ゐるが、更に本年一月一日現在
に比すれば一分九厘の騰貴とな
つて居り、又前年同期に比し一
割二分二厘の下落である、尙ほ
前月に比し騰落せる品名次の如
くである

難題をかけられ 子供と逃走

石城郡内郷村大字宮佐藤みよ(二四)は本年一月二十七日夫光
雄が磐城炭礦で落盤の下敷とな
り慘死し會社から六百圓の遺族
扶料を支給されたが、亡夫の兄
次城縣助川町榮町に居住する佐
藤戰勝は扶料の事についてみ
よへ難題を持ちかけるのでこの
程長男光一を伴ひ行方を晦まし
めたが、戰勝は行かれて困ると
同人の取押へ方を平署に此程願
ひ出た。

常設館便り

▲平 館 今週映畫日活後篇
「ミスターニッポン」松竹現代
劇「ザツォー」日活時代劇「光岡龍
三郎」酒井米子主演「紅蠟燭」
有聲座 マキノ時代劇「谷崎十
郎主演」また「蜘蛛」同現代劇
「大學の鐵腕」市キネ時代劇
「栄々」の光岡

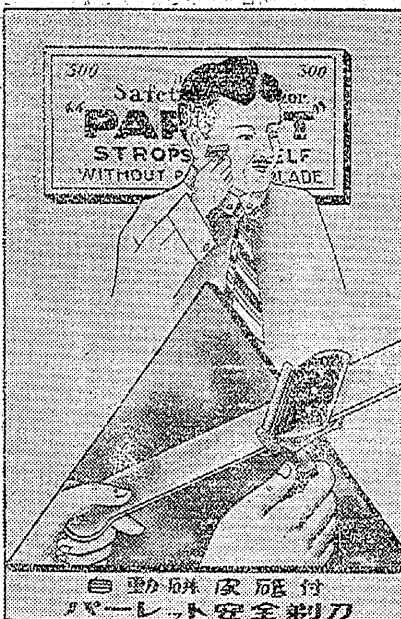
五月帯母は時折り來る話

五月帯母は時折り來る話
面白い挿繪をこたけ讀んで
見る讀者の來る迄に赤ん坊
笑ひ出し
無利息の貸手が出来る若い後
家
平 東天紅
苦戰談遺書まで書いた生残り
札賣場知らぬ女に二錢借り
電燈が五色に光る水菓子屋
夜櫻も亦可ならずや飲仲間
求婚欄自分で出したのも交り

宣傳中半額割引

明日のゆわす今すぐ電六八〇番へ
 パーレット安全剃刀 定価 金一圓八十錢
 自動研皮砥付 半額割引 金 九 十 錢
 一枚の及で永久に使用出来る
 パリカン、剃刀は……土橋へ
 詰かえボマード、クリーム、フケ取り香水は……芳香園
 白衣と鏡……大小取揃へ有る理髪器具店へ

新案特許權
 一五二一
 二五二一
 三二八二



時代は變る!!

破損性時計硝子より
 不損硝子へ
 絶対安全なコワレヌ時計硝子が専賣特許品
 で出来ました。最も経済的であります。
 是非御使用御試験を願います。

大谷時計病院

電話十九番

四倉電療院開業

病者の福音安全最新式施術
 電氣療法適應症
 神経痛、頭痛、バセドウ氏病、神経性消化不良、胃痙攣、
 腸痙攣、脚氣、月經閉止、にぎひ神経衰弱、肩のこり、
 リウマチ等より各種病氣を療法します。
 尚血脈の速定は無料にて致します。
 施術は毎日午前八時より午後九時まで
 特に事情ある方には半額又は無料致します。
 福島縣四倉驛前
四倉電療院
 渡邊虎太郎

謹啓新級清楚の候各位愈々御健勝の段奉賀上候
 借て私儀來る五月五日平町田町へ産科婦人科專
 門醫院を開業いたすことに相成候間今後共何分
 の御後援を賜り度此段御挨拶々御願申上候
 敬白

各位

井坂久吉
 平町田町 (舊合津醫院跡)
 電話五五九番

専門内科一般

内科ハ何デモ診療致マス
 呼吸器病バカリデハアリマセン
 平町南町六五改(電話一八一番)
川井内科診療所
 醫學士 川井重子
 女醫 川井安子

斷然賞讃を博しつゝある
 ヤクモ

實用白毛染八雲

一手販賣店 山野邊藥局
 内科 小兒科 (入院應需)
 花柳病科
藤沼醫院
 平町紺屋町
 電話平國五〇七番

佛國マルソー會社元詰
生葡萄酒
 マルソー・アランク・白 子 1.10
 マルソー・ルージュ 赤
 良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋藥局

腸胃 専門 内科
 十二指腸 腸胃病 胃腸病
松村 専門 皮膚病
 淋病 婦人病
松村 皮膚科 院
 (七〇一醫院) 町 南町 平

診察時間繰上
 受付 午前七時より
 宅診 午前八時より
 但急患者は此の限りに非ず
 平町新川端(釜屋新宅向)

難波醫院

醫學博士 難波睦
 電話五〇二番

何故ニ安イ?

- 1、合理化サレタル工場ノ大量製産ナルガ故ニ。
- 2、中間問屋ノ手ヲ經ザルガ故ニ。
- 3、薄利多賣スルガ故ニ。

五圓均一靴

赤編上靴 黒編上靴 黒短靴
 四圓五十錢……黒編上靴中等新入學生靴
 高級ボツクス皮耐久無比体裁優美。
 ノーブル型、中丸型、フランス型、各種。
 平 四・マルトモビル内
菊地靴店

花柳病科 専門

平町六丁目橋際
木村外科醫院
 電話三〇九番

吉田眼科病院
 平町紺屋町
 電話六八番